

| | |
|--|--|
| 申請事業名 | B校区 文化祭 |
| 解決しようとする地域課題 | <p>活動コンセプト「B校区の良さを知り広めよう!!」</p> <p>地域住民のつながりが希薄化していく中 自分達の地域を知り 誇りを持ち 繋がる地域の創造が急務である。B校区には誇れる文化、歴史が数多くある。(古墳、公園、博物館等々)地域住民がそれを再認識、再学習し、新たな発掘をして、地域の繋がりを強めるとともにB校区の素晴らしさを校区内外を問わずに発信する。</p> |
| 実施期間 | 平成29年1月28日(土)から平成29年1月29日(日) |
| 事業の内容 ・実施場所 ・対象者 ・実施方法 ・実施体制 | <p>【実施場所】 B小学校体育館、教室</p> <p>【対象者】 B校区及び近隣校区の住民</p> <p>【実施方法】</p> <p>(1) 展示部門 (1月28日、29日) いずれも午前10:00～午後4:00、地域を知り発信の為に展示(2部作とする。)</p> <p>①地域住民の作品展示(絵画、書道、写真、人形、陶芸等) ②校区の文化歴史の発掘及び住民活動による新事象や現有施設等の展示紹介(別紙「B校区の紹介」参照)</p> <p>(2) 演劇部門 (1月29日) ①地域住民の活動発表(演奏、民謡、フラダンス、歌唱等)は学校と協力のうえ実施する。 ②笑って、楽しみながら、プロの演劇を鑑賞して地域を知る。(落語、紙芝居、民話、歴史講話)</p> <p>(3) くつろぎ部門 茶の湯体験 煎茶ブースにて堺の和菓子と共にお茶を体験する。B校区の文化・歴史、また自治連合会の活動等をビデオを利用して紹介。B校区内にある古墳や歌碑、文化財(茶室:伸庵等)史跡等PRする校区住民作成による「名所マップ」を配布。</p> <p>【実施体制】 B校区まちづくり協議会会長を長として、12名の実行委員により各種準備、調査、まとめを行う。各実行委員はそれぞれ役割分担(計画、渉外、会計、設備等)をして実行する。更に実行委員から15の単位自治会、各種団体と共同にて作業を行う。</p> |
| 事業目的・効果 (1) 独創性や先進性の観点 (従来の地域活動とは異なった視点や形態など、新規性や工夫・アイデアがあるか。) | <p>(1) 豊富な歴史的文化資源を活かした地域紹介や文化事業を地域住民が主体性を持って展開する。また、これにより、繋がり合う地域社会を築く事ができる。</p> <p>(2) 堺在住の芸人による堺を知る為の講演等により、堺を再認識する。</p> <p>①ボランティア団体による紙芝居(堺の名勝、仁徳天皇、阪田三吉、利休他) ②歴史講話 堺在住歴史家もしくは歴史旅案内人による堺の歴史講話 堺幕府、堺炎上、もののはじまりなんでも堺等から選定 ③上野芝在住 落語家 笑福亭松枝一門(繁昌亭理事) 古典落語3題 松枝師匠と飛梅、縁(弟子) ④東北方言による民話の語り(堺と東北関連)</p> |

平成28年度「応募型地域まちづくり支援事業」応募事業（B協議会）

| | |
|---|--|
| <p>(2) 実行性の観点 (住民の理解と協力を得ることができ、地域全体を巻き込んだ事業となっているか。事業効果が期待できるなど、完成度の高い内容となっているか。)</p> | <p>(1) 文化祭への出展、出演は、従来活動者の作品展示と新たな製作活動、演技力の向上を促し、地域の文化活動の活性化となる。 (2) 地域住民自身によって地域の文化、歴史の再発掘を行い、また、改めて知ることによって地域への誇りと愛着を持つことができる。また、「名所マップ」は住民の手作りによるもので、地域全体を巻き込んだものとなり、地域住民の誰もがB校区の魅力を校区内外へ発信することができる。 ○既存の文化施設等の再学習から新たな発掘の期待。 例) 4個の遺跡 遺産登録古墳 28の内 15個の古墳がBにある。自転車博物館、無形文化財資産研究センター、重要文化財など貴重な施設等の紹介 約20項目以上のまとめと紹介・別紙「B校区の紹介」参照</p> |
| <p>(3) 公益性の観点 (不特定多数の市民の利益増進に寄与するなど、公益性の高い事業となっているか。)</p> | <p>地域住民だけでなく、近隣他校区の人もこの文化祭を通して、B校区の歴史、文化を楽しく学び、再認識することができる。また、これにより、参加者自身が住む地域の歴史、文化を再学習、再発見し、地元地域への愛着心醸成に寄与できる。</p> |
| <p>(4) アピールしたい点</p> | <p>(1) 地域の魅力を発信するとともに、仁徳天皇陵をはじめとする歴史的文化資源に親しむ環境づくりができる。 (2) 地域の文化・歴史を再発見、再認識することにより、今後の文化活動を通して、地域のつながりを強めることができる。 (3) 芸能に興味を持ち、感性を高めることができる。 (4) 茶の湯体験では、堺のお茶を再確認し、特に日本人の心である煎茶を子ども達に知らすことができ、大人はくつろぎ味わうことができる。 (5) 文化祭での展示項目、内容、写真等は、文化祭終了後、「B校区紹介」として製本発行する予定であり、地元の小中学校などで歴史教材としての活用が期待できる。</p> |
| <p>(5) その他特記事項</p> | <p>(1) B校区の文化や歴史、自治連合会等の住民活動を展示やビデオを使い、紹介することで、誰にでも校区の魅力を分かりやすく発信することができる。 (2) 文化祭が終了した後も参加者が名所マップを持ってB校区内を散策でき、改めて堺の歴史・文化を堪能することができる。</p> |
| <p>予 算</p> | <p>1,130,000 円</p> |
| <p>(1) 収入内訳</p> | <p>堺市補助金 1,130,000 円</p> |
| <p>(2) 支出内訳</p> | <p>①報償費 300,000 (演芸出演者への謝礼落語家(3名×50,000=150,000)／歴史講話者、民話語り部、紙芝居団体1団体(3×30,000=90,000)／校区出演者(6団体×10,000=60,000)) ②需要費 290,000 (展示関係用具(写真用紙、文具、展示台 39,000)／舞台装置(落語高座、文化祭看板等 35,000)／宣伝費(ポスター、プログラム、用紙、印刷 141,000)／くつろぎブース(煎茶道具、席等)75,000) ③役務費 21,000 (ボランティア保険(展示200人、演芸500人 計700人×@30=21,000)) ④委託料 190,000 (会場設営費:展示ボード 90,000／ストブ、灯油 60,000／配送・設置・撤去費用 40,000) ⑤使用料及び賃借料 129,000 (2Tトラックリース 20,000)／器機リース(マイクチューナー、デッキ他 109,000)) ⑥備品購入費 200,000 (映像器機(プロジェクター100,000、スクリーン 50,000、ビデオカメラ 50,000))</p> |